

あけまして おめでとろございます。



やったね! みんなの 願い届いた!!

日本共産党 岡山市政ニュース



東つよし 竹永光恵 河田正一 田中のぞみ 林潤

木造耐震補強の 補助継続約束

党市議団は、中小企業の仕事確保施策を質問しました。公共施設耐震化の早期実施、住宅リフォーム助成制度創設などを求めました。その中で、木造住宅への耐震診断・耐震改修の補助(最大80万円)は継続すると答弁がありました。

アユモドキ 産卵場確保!

アユモドキの産卵場所の借り上げを求める陳情が全会一致で採択されました。6月議会では、買い上げを求めている内容で継続審議となりましたが、党市議団は恒久的な産卵場所確保のため、市が購入すべきと主張しています。

発行者 党市議団
日本共産党
岡山市
岡山市北区大供1丁目1番1号
(市議会内)
〒700-8544 電話(086) 803-1707

一恵潤
正光
田永
河竹
林田
中東
のぞみ
つよし

No.255 (通263)

保育園入園基準

岡山市公立保育園保護者会連合会から、公立保育園の入園基準等について、育児休業取得期間中の継続保育を求める陳情がされました。岡山市は5歳児の場合のみ継続が出来ますがそれ以外は一歩退園となります。入所等の基準を変更しせめて3歳以上は継続できるようにという切実な願いが全会一致で採択されました!



インターネット

視聴はじまる

11月定例市議会からインターネットで本会議の生中継とおおむね3日後から録画を見ることができるようになりました。岡山市のホームページのトップに市議会ホームページのリンクがあります。議員名や質問日、通告などで視聴したい議員や質問を検索することができます。議員の反応など議場の様子を知るには傍聴が一番ですが、家で見ることもできるのは好評です。

公民館は どうなる?

中央公民館は
なくなるの?
福祉文化会館は
どうなるの?



市は市民文化ホールと市民会館を後楽館中学校跡地に併設建替える計画とともに、福祉文化会館と中央公民館の廃止を

検討しています。福祉文化会館を利用する福祉団体などから不安が出ています。中央公民館は全市の公民館活動の支えであり、機能の存続が必要です。また「市民サービス窓口・拠点の再編について」新しい市民サービス拠点体制の基本方針(素案)では、地域センターなどを原則廃止し、市民サービスは公民館基本に中学校区単位で行うと打ちだされました。公民館と市民サービスが同じ窓口、事務室ではサービスは低下するおそれがあります。

リットシテイ 落下事故

安全性は
大丈夫か?

12月8日、岡山駅西のリットシテイビルで高さ30メートルの天井から重さ4.4キロのパネルが落下しました。この建物は萩原市政時代に、市の再開発事業で建てられたもの

です。大成建設が特定建築業者として設計施行し、できたホテルの床が売れていない責任は市が負っています。完成後壁面のタイルの落下も起こっており、再開発事業の是非とともに、その出来も問われる事態です。

危ない!

岡山市の就学前教育・保育の在り方について

この方針は今回の議会で案がとれ実施にむけて動くことになりました。子育て世代の市民ニーズは保留児の一刻も早い解消や育休中の継続入園などです。しかしこの方針は公立園を一律に幼保一体化することと、施設の統廃合・民営化ありきの内容で具体的に保留児の解消にこたえる中身になっていません。また制定を急ぐ理由に国の緊急保育確保事業を利用するためと答えていますが、公立施設が対象になるのか不透明のままです。素案から案に移行される中で、3歳児教育や預かり保育のニーズには幼保一体化で対応することや保育料や幼稚園授業料を今までと同じように検討するとの文言が加えられました。しかし、国の動きの中では保護者の就労状態によって必要保育時間が決められ、また所得によって利用料も決められることになるので、加えられた文言が保障できるとは限りません。

何よりも600件を超えるパブリックコメントの不安の声にこたえるにはまだ丁寧な説明や審議が必要です。なにもクリアになっていない状況の中で承認した議会の責任も大きいといえます。党市議団はこの件に関して「声明」を出し、問題点を指摘し、引き続き市民ニーズにこたえ、最善の努力をすることを求めました。

2013年度予算要求提出

11月26日、27日高谷茂男岡山市長と山脇健教育長に212項目の来年度予算要望書を提出しました。

主な項目は、就学前教育・保育の在り方についてや国民健康保険料の引き下げです。不登校・いじめ・暴力事件の多発を受け、学校現場の実態を直視し、教員が子どもと向き合う時間を増やすことや正規教職員の増員などを要望しました。



▲11月26日市長へ要求書を提出する党市議団

おかしい!
質問のしかたで時間が違おう...?
30分か20分

11月定例市議会でも一問一答形式の試行が行われました。自民党・無所属の会の抵抗で本格実施はまだです。一括質問分割答弁は質問時間が従来どおり30分でした。それに対して一問一答では保守系、公明党により20分に削られました。

「コスト削減」「的を絞った質問になる」などを理由に挙げますが「多岐にわたる市政をしつかり議論する」という肝心な点が置き去りです。質問方式により時間を変える理由もありません。党市議団は「議員が発言する機会を確保するべきだ」と30分に戻すように主張しています。



県より向上! 特養施設設置基準

この期、地方分権一括法の関連で特に特別養護老人ホームの施設設置基準などの条例制定がありました。岡山市としてショートステイの利用もあわせて原則個室、やむをえない場合はプライバシーの確保のできる2人部屋という県条例よりも高い基準が盛り込まれました。地道に利用者の生活の質の向上にとりくんでいる現場の努力が実った結果となりました。

国保料値上げの仕組みに反対!!

岡山市国民健康保険条例の一部を改正する議案が賛成多数で可決されました。

国保料の減免分を他の加入者の保険料に賦課できるようにするものです。社会保障である国民健康保険制度を共助助け合いの制度へと変質させる内容です。国の法改正に伴う変更で直ちに値上げに反映するものではないと市は答弁しましたが、県下の全自治体で保険料の賦課制度を統一するもので、広域化に向けた準備に他なりません。広域化さ

れば、一般会計からの繰り入れや丁寧な分納相談などが出来なくなると考えられ、党市議団は反対しています。



2月議会日程

- 2月19日(火) 常任委員会
 - 21日(木) 本会議
 - 28日(木) 代表質問
 - 3月1日(金) 代表質問
 - 10:00 共産党市議団
 - 4日(月) 代表質問
 - 5日(火) 個人質問
 - 12日(火) 個人質問
 - 13日(水) 常任委員会
 - 15日(金) 本会議
 - 21日(木) 本会議
- ぜひ傍聴にお越し下さい。

編集後記

決算特別委員会では委員長の新風会和氣議員が途中退席や欠席を続け前代未聞の委員長交代となりました。党市議団竹永議員が副委員長だったので委員長を代行すると質問ができなくなることが問題となり、委員長改選となりました。また、有井議員は相変わらず本会議にも出席せず、議員の仕事を取り出しています。